

ご自由にお取りください



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO大阪病院

No. **58**
2024

Open Com

オープン・コム

特集

手術支援ロボット「ダヴィンチ」始動

～患者さんに低侵襲な手術を最上位グレードロボットで実現します～



JCHO大阪病院 理念

あしたのしせい+

より最適な医療と温かいところで、「あなた」と「地域」を支えます

特集

手術支援ロボット

「ダヴィンチ」始動

患者さんに低侵襲な手術を
最上位グレードロボットで実現します

当院は2023年12月に手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入しました！2024年1月からロボット手術を開始し、1週間に1件のペースで行っており、4月以降はより多くの患者さんに低侵襲な手術を実施していきます。

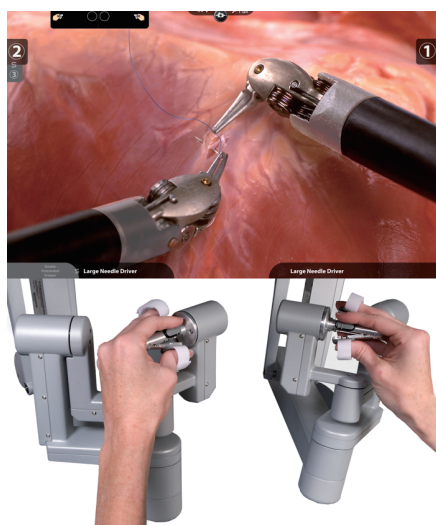
ダヴィンチ (Da Vinci) ・

ロボット支援手術

ロボット支援手術とは、執刀医がロボットをコントロールしながら行う手術です。患者さんへの体の負担が少ない手術を低侵襲手術といい、腹腔鏡手術を中心に当院でも広く実施しています。ロボット支援手術は腹腔鏡手術よりも、さらに低侵襲が期待される手術と考えられており、1999年から米国で開始され、現在まで世界で1000万人以上の方がこの手術を受けられています。現在入手可能な手術支援ロボットは国産メーカーを含め、数種類ありますが、ダヴィンチXiはその中でも、圧倒的なシェアを獲得している非常に優れた手術支援ロボットです。

ロボット手術のメリット

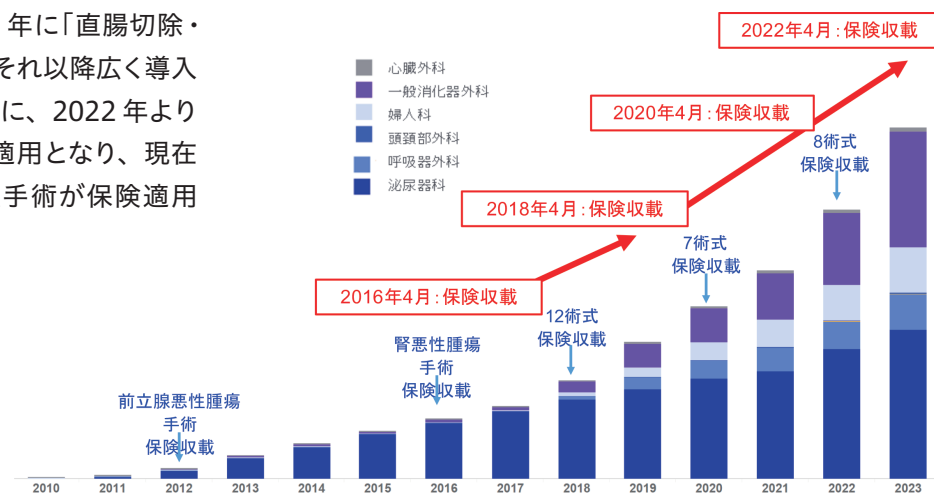
従来の腹腔鏡手術と同様に、体に小さな穴をあけて行う手術ですが、ダヴィンチXiには4本のアームがあり、それにつけられた内視鏡カメラと3本の鉗子を体内に挿入し、執刀医は3Dモニターを見ながら、座って操作します。執刀医の細かい手の動きをコンピューターが忠実に伝え、アームが連動して手術を行います。直感的に操作できるだけでなく、手振れ防止などロボット独自の機能によって、正確で安全な手術を行うことができます。腹腔鏡手術よりもさらに精緻な手術が可能となり、さらなる低侵襲手術が期待できます。ダヴィンチ手術は十分な訓練を経て、認定を受けた医師のみが行うことができ、手術に携わるスタッフも訓練を積み、徹底した安全管理のもとに行われます。当院でも安全性には最大限配慮してロボット支援手術を行っています。



01 消化器外科領域の手術

1. 保険適用の拡大

消化器外科領域では2018年に「直腸切除・切断術」が保険適用となり、それ以降広く導入されるようになりました。さらに、2022年より「結腸悪性腫瘍手術」も保険適用となり、現在すべての大腸癌ロボット支援手術が保険適用になっています。



2. 腹腔鏡手術

もともと大腸癌は腹腔鏡手術が広く行われている領域です。当院でもほとんどの患者さんに対して腹腔鏡手術を導入しており、低侵襲手術が進んでいます。腹腔鏡手術は小さな創で、腹腔鏡の拡大視により繊細な手術が可能であり、開腹手術に比べて非常に低侵襲な手術とされ、術後の早期回復をもたらします。腹腔鏡手術では直線的な鉗子で手術を行うため、血管周囲の操作が必要な場合には高度な技術を要しますが、ダヴィンチ手術では安定した視野と手振れのない操作、そして多関節鉗子の先端の屈曲によってより精緻なアプローチが可能となり、より精度の高い手術が行えます。

特に直腸癌の手術は骨盤に囲まれた狭い場所で行われ、周囲には膀胱、前立腺、子宮などの重要臓器があり、排尿や性機能をつかさどる自律神経が集まっているため、大腸癌の中でも難しい手術となりますが、ダヴィンチにより精度の高い手術が実践でき、高い根治性と術後の機能障害リスクの軽減が期待できます。



診療体制（2024年4月1日現在）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ・井出 義人（専門：下部消化管（大腸・肛門）） | ・野中 亮児（専門：下部消化管（大腸・肛門）） |
| ・森本 修邦（専門：肝胆膵疾患） | ・村上 剛平（専門：上部消化管（食道・胃）） |
| ・出村 公一（専門：上部消化管（食道・胃）） | ・岡 啓史（専門：外科領域全般） |
| ・山中 千尋（専門：肝胆膵疾患） | |

02 泌尿器科領域の手術

日本のダヴィンチ手術は泌尿器科領域が先駆けとなり、2012年に「前立腺全摘術」が初めて保険適用となりました。2016年には「胃部分切除術」、2018年には「膀胱全摘術」が保険適用となり、現在は消化器外科領域や婦人科領域等様々な分野に広がっています。

ロボット支援手術によるメリットは下記が挙げられます。

共通する点

- ① 手術中の出血量が減少する。
- ② 術後の疼痛が軽減する。
- ③ 入院期間を短縮できる。

術式毎

1. ロボット支援前立腺全摘除術

- ① 確実な膀胱尿道吻合により術後の尿道カテーテル留置期間を短縮できる。
- ② 術後の尿失禁の重症度、期間が改善する。
- ③ 勃起能の回復率が向上する（神経温存手術を行う場合）。

2. ロボット支援腎部分切除術

- ① 温阻血時間の短縮により残腎機能を温存できる。
- ② 拡大視野と繊細な手術操作により切除断端陽性を回避できる。
- ③ 尿路や腎皮質の確実な縫合閉鎖により出血や術後の尿漏を防止できる。

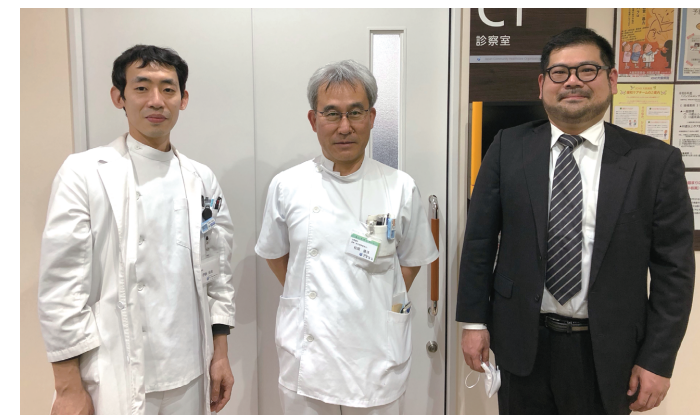
3. ロボット支援膀胱全摘除術

- ① 繊細な縫合操作ができるため腹腔内での尿路変向術が可能。
- ② 腸管機能回復が早くなる。
- ③ 腸閉塞、尿管狭窄などの合併症発生率が低下する。

泌尿器科領域では上記の他にも、ロボット支援下に行う腎盂形成術、仙骨膕固定術が2020年から、根治的腎摘除術、腎尿管全摘除術、副腎摘除術が2022年から保険適用になっています。

診療体制（2024年4月1日現在）

- ・松岡 庸洋（専門：泌尿器科領域全般）
- ・金城 孝則（専門：泌尿器科領域全般）
- ・伊藤 拓也（専門：泌尿器科領域全般）





多くの方々に ご参加いただきました！

2023 年 11 月 19 日（日）開催
 医師 3 名
 看護師 19 名
 介護職 6 名
 セラピスト 4 名
 診療所 4 施設
 訪問看護ステーション 10 施設
 訪問介護 5 施設
 地域包括 1 施設

超高齢社会の到来により、心不全患者さんは増え続けることが想定されます。心不全は適切な予防・治療を行い、教育と自己管理の指導により進行を抑え、健康寿命を伸ばすことができます。

当院では、2018 年 7 月に「大阪心不全地域医療連携の会」に加わり、心不全教室の開催や啓蒙活動に取り組んでいます。住み慣れた場所で自分らしい暮らしが送れるよう、病院だけで完結することなく、地域の医療・介護従事者と共に支えることが必要です。そのため、地域の医療・介護従事者向けに心不全については学ぶ「教室」を開催しています。



胸骨圧迫等の心肺蘇生の訓練風景



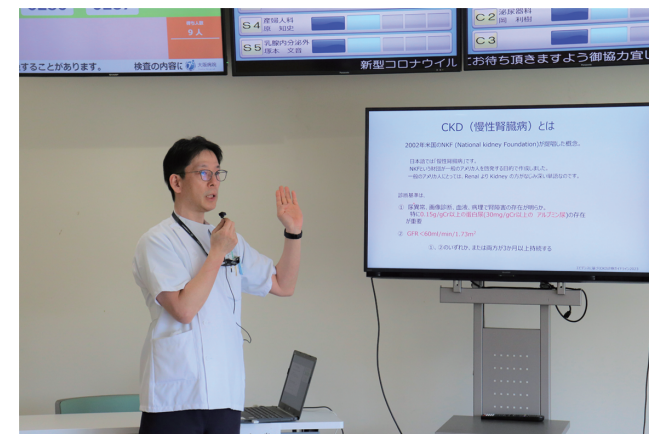
心不全と循環器疾患・薬剤・リハビリについて
各専門家による講義

次年度も継続して最新治療を含めたプログラムを計画しています。
 皆様のご参加をお待ちしております。

日本人の 8 人に 1 人が腎臓病を患いながら生活をしています。「世界腎臓デー（World Kidney Day）」は毎年 3 月の第 2 木曜日とされており、慢性腎臓病（CKD）を防ぐために、2006 年に定められました。当院では、2024 年 3 月 14 日（木）・15 日（金）に「世界腎臓デー」にあやかり「腎臓病オープンキャンパス」を開催しました。



2 階のラウンジでは、病気の予防や、最新の治療法など、医師や看護師がミニレクチャーを行っています。待ち時間などに足を止めて頂く患者さんも多く、ご好評をいただいています。今後も皆様のご希望の講演会を開催してまいりますので、ご希望などお聞かせください。



講演会は、鈴木朗腎臓内科診療部長が担当しました。「腎臓は、悪くなると治療は難しいのですが、早期発見が出来れば、さまざまな治療を受けることができます。現在、慢性腎臓病患者数は日本国内に 1,300 万人以上いるとされ、年々増加傾向にあります。この機会に慢性腎臓病を学び、予防への意識を高めましょう。」と予防や早期発見の大切さについて話しました。

JCHO 大阪病院の受診について

予約なしで受診

◆ 紹介状をお持ちでない場合も、受診いただくことができます。

紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費がかかることがありますので、ご了承ください。

◆ ご都合の良い日に、紹介状を持参し、11:30 までに受付へお越しください。

※診療のスケジュールをご確認の上、ご来院ください。

※整形外科、耳鼻いんこう科、神経精神科、放射線治療科、ペインクリニック科は完全予約制です。

かかりつけ医にご相談ください。

かかりつけ医からの紹介予約

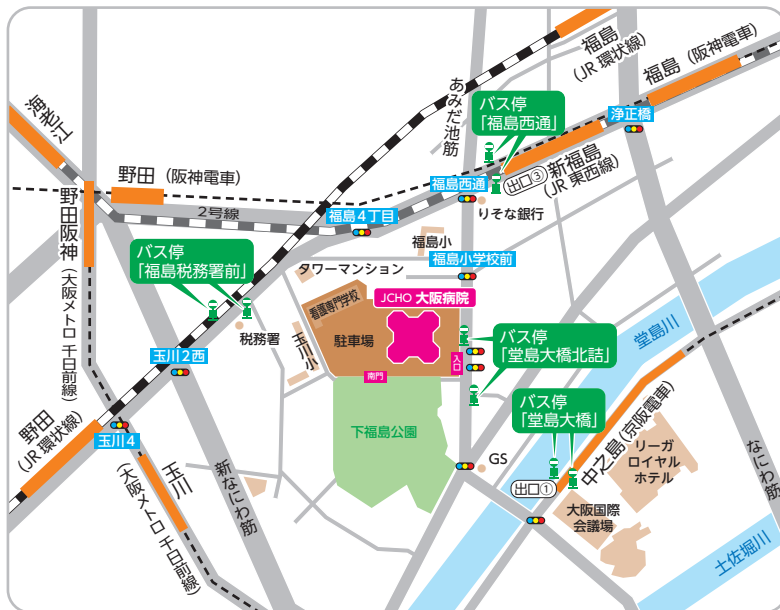
① FAX又は電話で予約してください。

- ・ FAXの場合は、「診察予約申込書」に記入して地域連携室へ送り、返送された「予約通知書」を患者さんにお渡しください。
- ・ 電話の場合は、「診察予約申込書兼予約通知書」に記入し、医療機関専用予約電話(申込書に記載)にて予約をとり、患者さんにお渡しください。

② 予約通知書と紹介状を持参して予約日にご来院ください。

※申込書は当院ホームページ「医療関係者の皆様へ」からダウンロードできます。

アクセス



■ JR 東西線

「新福島駅」下車徒歩 5 分

出口 1 にはエレベーター、出口 2 にはエスカレーターがございます
※当院に一番近い出口 3 には階段しかございません

■ 京阪電車

「中之島駅」下車徒歩 5 分

■ JR 環状線

「福島駅」下車徒歩 10 分

■ 阪神電車

「福島駅」下車徒歩 10 分、「野田駅」徒歩 15 分

■ 地下鉄

「千日前線玉川駅」下車徒歩 10 分

■ 市バス

「大阪駅前」 鶴町四丁目 [55] 方面 「堂島大橋北詰」下車 すぐ
「大阪駅前」 西島車庫前 [56] 方面 「福島西通」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」 西島車庫前 [56] 方面 「大阪福島税務署」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」 船津橋 [53] 方面 「堂島大橋」下車 徒歩 5 分

■ タクシー

「大阪駅」より約 10 分



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院 / 大阪府がん診療拠点病院

JCHO (ジェイコー) 大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<https://osaka.jcho.go.jp/> この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報委員会宛まで

JCHO 大阪病院

検索

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院(第1号)／につけい子育て支援大賞受賞／女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

JCHO大阪病院SNSはこちら



LINE



Facebook



Instagram



広報誌バックナンバー



古くより四つ葉のクローバーは「見つけた人には幸運が訪れる」という言い伝えがあります。
当院は患者さんや地域の皆様が幸せになるお手伝いができるよう四つ葉のクローバーの形を建物のモチーフにしております。

オープン・コム 58号 2024年4月発行
本誌の無断転載・複製は禁じます。